

高等部生徒が案内役を務める

地域住民と陶芸で交流

宇治支援学校

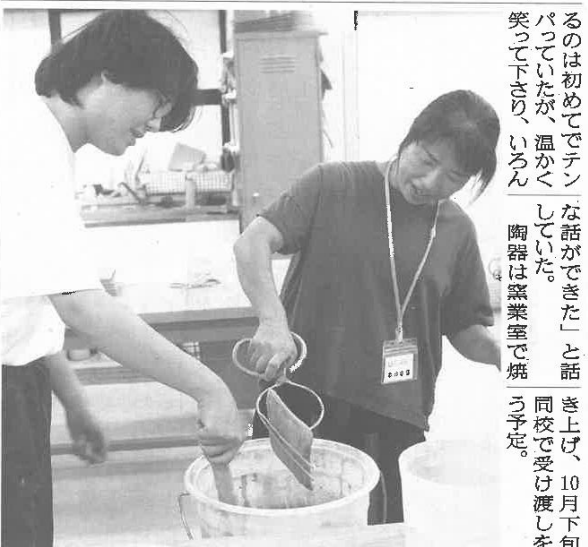
宇治市広野町の府立宇治支援学校(星川源華校長)で2日、陶芸教室が開かれた。高等部生徒が案内役を務め、地域住民と交流を深めた。

開校当初から行っている地域貢献活動の一環で、年1回の時期に開催している。身近に陶芸体験ができる場として近隣の住民から好評を得ている。

この日は、就労を目指す高等部1、2、3年生7人が自己紹介の後、各テーブルに分かれて地域の人をサポート。サインの



白、黒、緑、ピンクから好みの色をチョイス



専用のハサミを使い、釉薬に漬ける作業を行った

彫り込みや、磨き、釉薬掛けの作業などを体験してもらった。

案内を終えた小林涼乃介さん(3年)と岡本輝星さん(2年)は「楽しかった。2時間があつという間、寂しい」「人に教えるのは初めてでテンパっていたが、温かく話してくれた。陶器は窯業室で焼

き上げ、10月下旬に同校で受け渡しを行う予定。



発行所

〒611-0021

宇治市宇治里尻81番地の3

TEL (0774) 22-4109

FAX (0774) 20-1417

JRI: https://rakutai.jp

-mail: rakutai1954@gmail.com